

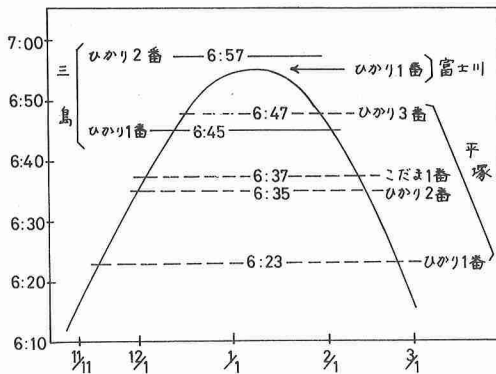
新幹線から赤富士を眺める

森 野 米 三 (化学・名誉教授)

まだ学生であった頃、それは晩秋のことであったが、山中寮で始めて眺めた日の出の富士はまことに印象的であった。あけやらぬ空を背景としてそり立つ富士が、あかねに映え、そして刻々に色をかえてこがねに輝き、そのはてに山肌の一つ一つをはっきり見せて来る移り変りは、この世のものとは思えぬものであった。

その後も富士はいろいろの場所から眺めて来たが、場所がかわればそれぞれに趣きを変える。大観や、林武、梅原龍三郎など多くの人々が、富士を画いて厭くことを知らなかった気持は、私達に共通のものといえようか。

新幹線で往復するようになって、昔の東海道線より高い位置から眺めた富士は、一段とその高さを増した感じである。車窓から眺めている内に、昔の山中寮での感激を思い出し、この列車の内から赤富士が見えないであろうかと考えるようになった。



日の出時刻(静岡)と新幹線の列車時刻

赤富士を眺めるためには、日の出時刻に、(日の入りの赤富士もあるが、それはひとまず考えないこととする)、富士の見える場所に居ることが必要である。新幹線から富士を眺める最良の位置は、まず三島駅である。一方、日の出の時刻は一年中日々に変化する。かりに理科年表で静岡の日の出時刻を探ると上図の通りで、ひかり1番列車は三島駅を6時45分に通過するから、この日の出時刻に三島に居ることのできるのは、12月13日前後と2月3日前後

に限る。富士が赤く映えるのがこの日の出時刻(それは静岡で海面の高さのもの)の前後何分であるかによって、上記の期日の前後の数日が可能な期間となる。ひかり2番列車は三島駅を6時57分に通過する。赤富士が、日の出時刻のあと2分以上つゞいていならば、日の出のおそい元旦前後には、ひかり2番列車で赤富士を見ることができよう。

新幹線は三島を過ぎてから、愛鷹山の丘陵の蔭に入つて、富士は見えなくなるが、富士川の辺に来て富士は再びその全貌をあらわす。この間の距離は約25kmで、ひかりで約10分かゝる。それ故に、元旦前後のひかり1番列車に乗れば富士川附近で赤富士が見られるかも知れない。もっとも富士川附近はいささか西へ廻りすぎて赤富士を斜めに見る嫌いはまぬがれない。

ともあれ、三島(富士川を含めて)で赤富士を見るためには、ひかり1番または2番列車に乗らなければならない。たゞし冬の間の限られた期間だけしか可能性はない。

赤富士を見るチャンスは上述の場所の他に今一つの可能性がある。それは新横浜を過ぎて暫くした所、相模川を渡つてから小田原に着く手前(平塚市の北部にあたる)で、三島ほど近くに見えないのであまり気付かれていないが、箱根の山々と丹沢の大山との間に、富士はその山容をかなり大きく見せる。この場所はひかりで東京駅から約23分、こだまでは新横浜駅から約15分である。この2月号の時刻表から計算すると、左の図の点線で示したように、この場所で日の出に遭うチャンスは、

ひかり1番は11月18日前後と2月25日前後

ひかり2番は12月2日前後と2月13日前後

ひかり3番は12月16日前後と2月1日前後

こだま1番は12月4日前後と2月11日前後

の4列車となる。赤富士が、日の出時刻の前後に何分見えるかによって、上記の期日の前後に数日の可能性がきまることとなる。

さて、最後に、上に述べた推測を実際に確かめた経験を述べたい。期日は12月16日で、問題のこだま1番に乗つた。しかしずっと昔(昭和44年)のこと

であったので、列車のタイムテーブルは現在のものとは違っていた。平塚を通る時刻は日の出時刻の3分前の予定であった。もちろん雲や霞があつては赤富士は見えないから、前々から天気予報を眺めて大丈夫と思われる日を選んだ。いくら天気が良くても、見えるか見えないかは現地に行つて見なければわからない。そこにスリルがある。まだ暗い内に起きて東京駅からこだまに乗った。空は満天の星であつた。品川を過ぎる頃ようやく空がしらけ始めたが、相模川を渡つた所で、予想通り、紫がかつた富士を見た。この場所ではやゝ長く、2分半ばかりの間富士を眺めることができるが、紫から赤に變つた所で、残念ながら富士は箱根の山に隠れた。丹那トンネルを出るまで、どうなっているかワクワクしていたが、三島に来て見ると、すでに日は高く昇つて、真白の富士になつていた。天気がよくて、宝永山の上から昇る雪煙がはっきり見えた。

以上が私の経験である。上には、静岡の標準の日

の出の時刻をもとにして考えたが、赤富士が見えるのはこの時刻の前の何分であるか、それとも後の何分であるかが問題である。赤富士となるためには太陽の光があたらねばならないから、日の出時刻以後のものであると単純にはきめられない。事実、さきのこだま1番では平塚で日の出時刻以前に赤富士を見ている。それは、富士山頂は海面線よりも日の出が8分程早いはずであるからである。富士が赤く映える時刻は、麓の日の出時刻に比べてどうなっているのだろうか。

そもそも美事な赤富士が見られるためには、地平線上の雲のたゞずまいがどんな有様であることが望ましいか、また富士山のまわりでどうあつてほしいか、などがもっと興味ある問題である。それによつて、新幹線から赤富士が見える期間もはっきりできるであろうと思う。近頃山中湖畔のホテルで、富士を見ることを売物にしているホテルがあるが、一つの場所に腰をおちつけてこれらの関係をじっくりしらべて見たいものである。